

応急用パンク修理剤を使用したタイヤは早期に交換が必要

タイヤの応急パンク修理の修理剤を1度注入をしたタイヤは必ずできるだけ早く交換するまた摩耗状態によっては正常なタイヤも一緒に4輪または2輪交換しなければならないと取説には書いていないなぜ

ChatGPT:

とても鋭いご指摘です。

タイヤの取扱説明書(取説)や車両のマニュアルには、応急用パンク修理剤を使用したタイヤは早期に交換が必要であることが明記されていない場合が多くあります。

しかし、実際には以下のようないくつか理由から「早期交換」や「全数交換の必要性」が発生します。

### 🔧【1】応急修理剤使用後のタイヤは「安全性が保証されない」

- 修理剤(シーラント)は内部の傷口を一時的に塞ぐだけで、恒久的な修理ではありません。
- 高速走行時や長距離運転で再度空気漏れを起こす危険があります。
- また、タイヤ内部に残留した修理剤がゴムを劣化させる恐れもあります。

### 🚗【2】TPMS(タイヤ空気圧監視システム)やバランスへの悪影響

- 修理剤は TPMS のセンサーを腐食・故障させることができます。
- タイヤ内部に偏って残ることでホイールバランスが狂い、走行安定性が低下します。

### ⌚【3】なぜ「4輪または2輪をまとめて交換」となるのか

- 駆動方式(AWD・4WD)の場合、1本だけ新しいタイヤにすると回転差が発生し、デフやトランスマッisionに負荷がかかります。
- 前後や左右のグリップバランスが崩れ、ハンドリングや制動性が不安定になります。

### ❓【4】ではなぜ取説に「必ず交換」「4輪交換」と書いていないのか？

いくつか理由が考えられます：

理由	内容
法的責任回避	「絶対交換」と記載するとメーカーが責任を問われるリスクが増える
コスト配慮	ユーザーに「修理剤使用=高額なタイヤ交換」と印象づけたくない
ユーザー判断に委ねる方針	「ディーラーや整備士の点検を推奨」に留めることで裁量を残している
応急修理剤が純正品	使用後も一定の安全性を維持できる前提で書かれていることもある

## 【結論・実務的なアドバイス】

- 応急修理剤を使用したタイヤは、修理剤を注入した時点で「消耗品」扱いです。
- なるべく早くプロ(タイヤショップやディーラー)で点検を受け、必要に応じて交換を。
- 特に AWD 車は 4 本まとめての交換が望ましい(回転差の問題)。
- 取説に「必ず交換」と書いていないのは、責任やコストへの配慮からと考えられます。

必要であれば、「国交省や自動車メーカーに向けた改善提案文」も作成できますので、お申し付けください。

## 「国交省や自動車メーカーに向けた改善提案文」

ChatGPT:

以下に「国土交通省・自動車メーカー宛ての改善提案文」案をご用意しました。

内容は、応急パンク修理剤の使用後の安全性リスクと、取扱説明書等での明確な注意喚起の必要性を指摘するものです。

### 【改善提案書】

#### 応急用タイヤパンク修理剤使用後の取扱いに関する表示改善の提案

宛先:

- 国土交通省 自動車局安全・環境基準課 御中
- 日本自動車工業会(JAMA)加盟自動車メーカー各社 御中

件名:

#### 応急パンク修理剤使用後のタイヤ交換義務に関する表示明確化の要望

提案の趣旨:

近年、スペアタイヤの代替として応急用パンク修理キットを標準装備とする自動車が増えております。

この修理剤は一時的に空気漏れを抑えることが目的であり、恒久的な修理手段ではありません。しかしながら、車両の取扱説明書やタイヤラベル、インパネ表示等において「修理剤使用後は早急なタイヤ交換が必要」である旨が明確に記載されていない事例が見受けられます。

## 安全上の懸念:

- 修理剤がタイヤ内部構造やセンサーに悪影響を及ぼす可能性があること。
- 高速道路走行時に空気漏れが再発し、事故につながるリスクがあること。
- 駆動系保護の観点から、AWD車両などは4輪同時交換が必要であるにもかかわらず、これが周知されていないこと。

## 提案内容:

以下の改善を要望いたします:

- 車両の取扱説明書および応急修理キットの説明ラベルにおいて、\*\*「修理剤使用後は速やかにタイヤ交換を行う必要があります」\*\*という表記を明記すること。
- 特にAWD(四輪駆動)車両においては、\*\*「1本交換では駆動系に悪影響が出る恐れがある」\*\*ことを説明に明記すること。
- 自動車整備事業者や販売店向けの整備マニュアルや研修資料においても、修理剤使用タイヤの取り扱いと交換基準を統一・明文化すること。

## 目的:

- ユーザーに正確なリスク認識を促し、走行中のタイヤトラブル・重大事故を未然に防止する。
- 整備・販売の現場での説明責任と判断基準を明確化することで、ユーザー対応のばらつきを解消する。

## 結語:

クルマの安全性は、タイヤという「命を預ける部品」に大きく依存しています。

ユーザーが応急処置を誤って過信し、大きな事故に至ることのないよう、

是非とも表示・説明の改善をご検討いただきたく、ここに提案いたします。

## 提出者氏名(例):

岡田 康博(タイヤ安全技術特許保有者／市民提案者)

連絡先:○○○-○○○○○-○○○○

Email:example@example.com